

園寶の山門も子供等の懐しいものゝ一つ。更に道を隔てれば大縣廳あり、前庭二本の椎の名木。實のる頃ともなれば子供達園の往き歸り忘れ得ぬ樂しみの一つ。

扱、園に入れば、藤蔭將に四十坪。或は盛夏を忘れしめ、或は又雨を覆ふ。初夏紫房蛙の群を呼んで翅音がまびすしく、やがて花散れば、陽光葉蔭を洩れて汗の子等をいたわる。御大典奉祝記念の築山は周圍約二十五米、校庭も此處だけは雜草を残して子供等の最もよき陣地。時に野菊の一輪も咲出で、床しい秋の風情を見せる。

園舎は校舎の一隅、天井も煤け、窓亦暗く、畫尙電燈の光を借るの舊態なれども、この惠まれたる大いなる環境に子等は唯すく〜と伸びるのである。國民學校と併置の有難きは、うさぎ、鶏、龜、鳩、金雞鳥、金魚等々年中飼育の動物を始め、四季折々の動植物、稻の稔りから、冬のねぎ島までその觀察環境の豊富なことである。今前庭の蓮昌には紅の蓮花一莖、今年珍らしく花をつけて子供達を驚かしてゐる。今夏は學校農園の馬鈴薯掘で子等を喜ばせた。秋は又さつまいも掘、里いも掘、やがて初冬白菜の收穫も手傳はせて貰ふつもりである。四坪餘りの幼稚園菜園は今トマトの盛り。胡瓜は七月中旬既にその收穫を終へて給食の食膳にお膳として、カボチャは今二個大きく熟しやうとしてゐる。二十日大根は五月から六月にかけて收穫し酢のものとして給食に。尙十個づゝばかりは家庭にも分つてこの大きな子等の誇りを喜んで貰つたものである。

豊かなる自然は貧しき保姆の力を補ふて子等は又すく〜と育つて行く。(一七、七、三〇)

## 山口縣 私立深川幼稚園

松岡唯介

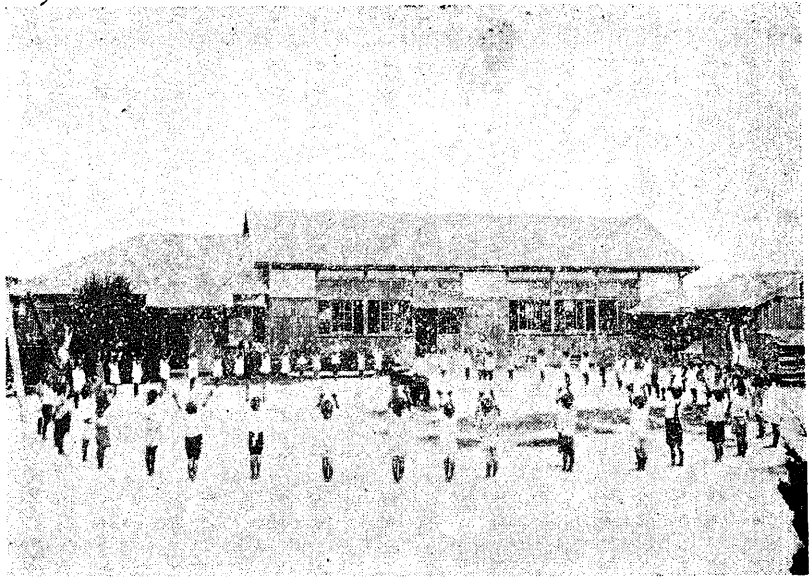
一、創立 本園は昭和七年の六月の創立であります。爾來早くも十年を経過しました。併し今日まで貴誌に於て紹介された幼稚園に比較しますればまだ赤子であります。

園児が徒歩通園し得べき範圍には六部落と戸數五百がありますから園児數も設備も微々たるものであります。

正明市に鐵道の通開しましてより十八年になります。開通以前は一面海、三面峯巒に包まれて世の文化と隔り、民衆も幼稚園は知つて居るが、保育事業保育會など、申しては一向通じないのであります。教員も父兄も幼児教育には面を向けざる時代の設立でありましたから、創立にも發展にも非常な苦心がありました。

二、園の環境 約一〇アールの上田を埋立て、園地としました。西及北は民家に隣接し、東及南は田圃を隔て、民屋があります。その屋根越二千メートルに山脈連延し、四季の眺望宜しく且つ夏は涼しくして舍内暑さを感じず、冬は暖かにして暖房の裝置も短期にてすみます。

三、園児及職員 園児は百名を上下して居ます。園長の私以外保姆としての女性四名居ります。私は園長でありながら他の社會的



山口縣私立深川幼稚園

奉仕的職務のため毎日の出勤困難の事情のため、園長格の保母を得るに苦心するのみならず、時局の關係は女學校青年學校卒業者は諸團體學校等が吸収して幼稚園には中々人が得られませんが、

如斯事態の中に母にまさる慈心の女性を得んとする悩みは普通ではありませんが、本園は幸にも子女を有する二女性と地位あり裕福にして幼児保育に興味を有する女子青年が、私の保育事業を奉仕的に援助下さるので仕合せして居ます。

#### 四、保育に就ての雜感

1、近來は訓練とか鍛鍊とか錬成とかと盛んに唱導せられ、私も國民學校令に準じて國民保育の目的内容等にも一段の検討を致し、將來大東亞の指導者となるべき皇國民の魂の育成に遺憾のない様に就て、權威者の指導先進各園の保育方針諸施設の公開を切望するものであります。

2、家庭教育は協力 家庭は幼児の生れる處生れて後任む處強く育て、貰ふ處(食物、疾病豫處、健康増進)最善の處、慈母の居る處善い習慣をつける處、意志の鍊成奮發心を起させる處、仕上げて貰ふ處等々、私が教育學より得た概念であります。保母にも是等の諸點を確知せしめ常に園児の家庭を視察して放任せられ居る方面はその覺醒と改善に努力さして居ます。

3、遊園地——運動場 自然の保育場たる本運動場は平坦にして限界の展望廣く、乾燥濕潤適度で終日園児は諸設備を驅使して活動性を満足せしめ、日光を浴び、新鮮なる空氣を

満喫して嬉々として居ます。

園長室より遊園地の全部が視界に入り、外庭に於ける園児の活動は細大悉く觀察が出来る様になつて居ます。私の出勤時間の大部分外庭に於ける園児生活の觀察に費して居ます。其の結果園児の個人的活動に或は團體的生活に必要な施設を發見し修繕すべき點、改造すべき施設に氣が付きます。

時局の影響、生活訓練、保育の効果が外庭の諸施設を利用して生活する状態を透して味は、るゝことも頗る愉快に思ひます。

4、園外園地 園の運動場には山あり谷あり池ありて、郷土の縮圖の様なのがよい。

多田の濱、妙見山、宮地、田屋の松林、飯山宮、五十鈴神社、赤城山、前中山、深川高女校、仙崎祇園社、大寧寺、等がそれでありませう。何れも史蹟を有する地であります四季天候を見はかつて園地に終日生活させませう。

5、勤勞教育 人は一生を通して至誠であり勤勉でなくてはなりません。幼時よりこの訓練を受けてやがては立派な自立自營の皇國民とならねばなりません。而して此の勤勞の習慣をつける機會は家庭に於ても園に於ても充満して居ます。家庭でも園でも愛に溺れる結果自力が悉く勞をとりてよき機會を逸するは通弊であります。園児は園児相應に骨身を厭はず勤勞の訓練をさせねばなりません。私は登園す

ると、鋸や植鋤や鎌を握ることも相當あります。園児は私を取りまいて用達を命ぜらるゝを待つて居ます。一汗になつても勞を惜みませぬ。之は園児の通有性と思ひます。

6、食事について 園生活に慣れたら可成早く晝食を持參させます園児は園で食事することを大なる樂みとして居ますが、園の目的は咀嚼の訓練であります。一ヶ月もしますと今迄の早喰が改善せられ、食事時間は實に行儀よく靜で保姆が監督せずとも差支ない様になります。

園の水は大變よろしい故に、要求するまゝに生水を與へて居ますが、園外では絶対に生水を飲まぬ様禁けて居ます。

7、保育項目 新任保姆には出勤第一に園の刷物に依り保育項目の大意を把握させませう。保姆は兎角保育項目に囚はれ易き傾きがあります。園児との生活は室外よりは室内に流れ易くあります。天候のよい限りは室外保育を主にして居ます。

8、時局認識を深めること 皇大神宮及宮城の類、東洋地圖、世界全圖、時局に關する繪畫寫眞、新紙上に發表された戰果戰鬪狀況等の切抜、等本園では以上の資料により時局の認識を深め、出征將兵の送迎は園庭に於て汽車の通過に國旗を振り萬歳を唱へしめませう。

9、學藝會 毎年三月中旬卒園と國民學校へ入學を祝する意味を以て劇場近松座に於て學藝會を開きます。 以上